



2020年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社スマートバリュー
代 表 者 名 代表取締役社長 渋谷 順
(コード番号：9417)
問 い 合 わ せ 先 取締役管理部門統括 藤原 孝高
TEL. 06-6448-1711

2020年6月期 第2四半期連結業績予想と実績との差異、

特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年8月14日に公表いたしました2020年6月期 第2四半期累計期間（2019年7月1日～2019年12月31日）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、事業譲渡に伴う特別利益の計上と最近の業績動向を踏まえ、同じく2019年8月14日に公表いたしました2020年6月期(2019年7月1日～2020年6月30日)通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

2020年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年7月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,648	△18	△17	△22	△2.24
実績値 (B)	3,391	△52	△47	△64	△6.53
増減額 (B-A)	△257	△34	△30	△42	
増減率 (%)	△7.0	—	—	—	

2. 第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値の差異の理由

売上高は、クラウドソリューション事業においては、モビリティ・サービスのカーソリューション分野で、競合他社との価格競争が激化したこと等により、また、モバイル事業においては、2019年10月施行の改正電気通信事業法により、通信と端末が分離された料金プランの提供が義務化されたことや、消費税引き上げによる買い控えの影響を大きく受けた結果、新規販売台数が大幅に減少したことにより、前回発表予想値を下回る結果となりました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、クラウドソリューション事業においては、デジタルガバメントとモビリティ・サービスのIoT分野が堅調に推移したことから、おおむね前回発表予想値どおりの結果となりましたが、モバイル事業においては、売上高の減少に伴い売上総利益が減少したことから、前回発表予想値を下回る結果となりました。

3. 特別利益の計上

2020年2月14日付「事業譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、2020年6月期第3四半期連結決算において、移動体情報通信機器の販売代理店事業の事業譲渡益を約1,500百万円計上する予定であります。

4. 通期連結業績予想の修正について

2020年6月期通期連結業績予想数値の修正(2019年7月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,204	356	361	222	22.37
今回修正予想 (B)	6,904	91	101	1,029	103.49
増減額 (B-A)	△1,300	△264	△259	807	
増減率 (%)	△15.9	△74.3	△71.8	362.8	
(ご参考) 前期実績 (2019年6月期)	7,743	320	344	193	19.48

5. 通期連結業績予想の修正の理由

売上高は、第2四半期累計期間までの業績落ち込みの影響に加え、移動体情報通信機器の販売代理店事業において、繁忙期である3月に見込んでいた業績が、2020年1月から3月も上期の状況が継続することが見込まれることで大きく未達となる見通しであることと、2020年2月14日に「事業譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」により開示いたしました、2020年3月31日予定の移動体情報通信機器の販売代理店事業の事業譲渡による影響により、2020年4月から6月の売上高の計上がなくなることから、前回発表予想値を大きく下回る見込みであります。

営業利益及び経常利益は、移動体情報通信機器の販売代理店事業における、第2四半期累計期間までの業績落ち込みの影響に加え、繁忙期である3月に見込んでいた利益が、2020年1月から3月も上期の状況が継続することが見込まれることで大きく未達となる見通しであります。上記事業譲渡による影響により2020年4月から6月の利益の計上がなくなることから大幅な減益となることで、前回発表予想値を大きく下回る見込みであります。

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益として事業譲渡益を約1,500百万円計上することにより、前回発表予想値を大きく上回る見込みであります。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以上